

平成25年行政事業レビューシート (外務省)														
事業名	アジア友好促進補助金 (日本の魅力発信)			担当部局庁	アジア大洋州局			作成責任者						
事業開始・終了(予定) 年度	平成24年4月1日～平成25年3月31日			担当課室	中国・モンゴル第1課			課長 植野 篤志						
会計区分	特別会計			政策・施策名	基本目標Ⅰ：地域別外交 具体的施策Ⅰ-1-4：未来志向の日中関係の推進及び日モンゴル関係の強化等									
根拠法令 (具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律(昭和30年法律第179号)第6条第1項									
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災と東京電力福島第一原発事故を受け、風評被害で大きなダメージを受けている地方自治体レベルの台湾向け情報発信を強化し、風評被害の軽減、「日本ブランド」の復活、台湾からの日本観光旅行客の回復を図る。													
事業概要 (5行程度以内。別添可)	台湾は我が国にとって第5位の貿易パートナーであり、もともと緊密な人的往来と経済関係を有する地域であることにかんがみ、被災地の復興ぶりや日本の地方(被災地)の魅力を伝えるテレビ番組を制作し、台湾主要テレビ局の人気番組で放送してもらうため、台湾の人気キャスター及び撮影スタッフを日本に招へいする。また、日本の地方の伝統文化紹介、食品輸出・観光PRのため、被災地関係者を台湾で開催される食品見本市、観光展に出展できるよう派遣し、出展を支援する。													
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他													
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況		22年度		23年度		24年度		25年度		26年度要求			
			当初予算				44		-		-			
			補正予算											
			繰越し等											
	計						44		-		-			
	執行額						44							
執行率 (%)						100								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位		22年度		23年度		24年度		目標値 (年度)	
	東日本大震災後に落ち込んだ台湾からの訪日観光客数の回復、台湾の対日輸入の早期回復。						126.8万人		99.4万人		146.7万人			
	達成度				%									
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位		22年度		23年度		24年度		25年度活動見込	
	【特別番組制作】台湾人気番組枠を買取り、4週連続で被災地の復興ぶりと魅力を伝える番組を放映。 【地方文化紹介】東北7県関係者を台湾に派遣し、食品見本市等に出展させる。												—	
単位当たりコスト	【特別番組作成】 35円 (19百万円/54万人) 【地方文化紹介】 1,583円(22百万円/1.4万人)				算出根拠		【特別番組制作】本件支出額÷(本件予算を用いて制作・放映されたテレビ番組の視聴率×台湾総人口)により、当該テレビ番組を見た台湾住民1人あたりのコストを算出。 【地方文化紹介】東北7県関係者が出展した見本市、観光展の来場者数で支出額を割り、来場者1人あたりのコストを算出。							
平成25・26年度予算内訳	費目		25年度当初予算		26年度要求		主な増減理由							
			-		-									
	計		-		-									

事業所管部局による点検						
	項 目		評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	東日本大震災被災地の復興支援は我が国にとって最も優先度の高い政策課題であり、台湾から被災地への観光客誘致及び被災地産品の台湾向け輸出の促進は、国民のニーズに完全に合致するもの。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		—			
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	本件交流協会予算の執行状況、資金の流れ・用途については、同協会から然るべき説明を受けており、予算の効率的執行、事業執行率の向上等に努めるよう指導している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本件予算の目的に合致する事業が実施されており、所期の目的を十分に達成したものと評価できる。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	本件交流協会補助金経理については、適正かつ効率的に運用・執行されるよう指導している。					
外部有識者の所見						
-						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年		平成23年		平成24年	24－19

個別事業名:

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

外務省
44百万円

(国際友好団体補助)



委託費
B社他1社 26百万

A 公益財団法人交流協会
44百万円

航空券代、会場借料等
A社 他 18百万円

補助金執行額
44百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

個別事業名：

<div>費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)</div>	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	旅費交通費	派遣者の航空券代等	9			
	賃借料	会場借料	3			
	諸謝金	通訳料等	1			
	その他	会議費、通信運搬費等	5			
	計		18	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	委託費	テレビ特別番組作成	26			
	計		26	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

個別事業名:

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	名鉄観光サービス(株)	航空券代等	2		
2	対外貿易発展協会(TAITRA)	会場借料	2		
3	秋田県貿易促進協会	航空券代等	2		
4	ビコインターナショナル(株)	会場デザイン料等	2	1	
5	その他	輸送料、会議費等	10		
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	台陽広告有限公司	テレビ特別番組作成費	19	2	
2	旅奇広告有限公司	イベント会場設営費等	6	3	
3	(株)近鉄エクスプレス	イベントコーディネート費	1		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					